

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

様式第3号

【基本的な事項】

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	定期的な差別禁止についての話し合いをもち、差別の危険性とInclusionの有効性について話をしている。					○			○		○						○		
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	<予定>ハラスメントについてのガイドブックの購入と勉強会を開催する予定。					○			○									○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	無理のない作業スケジュール作成の徹底と確認をおこなっている。									○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	該当なし				○					○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	農機具などの利用に際しては、あらかじめ使用方法を確認し、作業返し前にお互いの安全確認を声を出して行なっている。			○						○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	<予定>大空の下での作業を通じてのストレス解消やメンタルのリフレッシュを心がけているが、今後、メンタルヘルスについて学び、足りない部分の補充を行う。予定。			○															
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	女性と高齢者についての人材活用、促進は積極的に行なっております。今後は外国人や障害者などダイバーシティ経営の拡大とさらなる促進を行いたい。					○				○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会				○						○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済					○					○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済										○		○							

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	可能な限り、廃棄物をリサイクルできるようにする。例えば、カサかけの傘、袋かけの後の袋などのリサイクルを促進し、廃棄物を最小限に抑えている。											○	○		○				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	<予定>個人事業主として、現実的に難しいが、出来れば、エネルギー使用量の計測方法を学び、数値化した上で効率化をすすめたい。							○						○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	<予定>個人事業主として、現実的に難しいが、出来れば、温室効果ガスの排出量の計測方法を学び、数値化した上で効率化をすすめたい。							○						○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	<予定>個人事業主として、できる範囲にて使用量の削減及び適切な使用につとめている。例えば、農業散布時の農業の使用量や使用は必要最低限にするよう努めている。			○			○						○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	草生農業を中心に、最低限の農薬の使用を含め、安易に除草剤などの利用に頼らない。						○										○		
16	環境 【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境							○												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境														○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境							○						○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	<予定>最低限の議論をしているが、組織の拡大に伴い、必要な法策を講じていきたい。																		○
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	<予定>最低限の議論をしているが、組織の拡大に伴い、必要な教育を講じていきたい。																		○
24	公正な事業慣行 【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	<予定>最低限の議論をしているが、組織の拡大に伴い、必要な教育を講じていきたい。									○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	<予定>最低限の議論をしているが、組織の拡大に伴い、必要な教育を講じていきたい。																		○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																			○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○	○

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	丁寧な栽培、運搬、そして保管を心がけ、必要な消費者への注意喚起を行なっている。			○									○						
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	<予定>顧客サービスの大切さなどを議論し、高品質な農作物としてのブドウ、加工品としてのワイン作りを心がけている。今後の事業の拡大とともに、マニュアルを含むよりシステマチックな仕組みづくりをしていきたい。									○									
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○			
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	<予定>最低限の議論をしているが、組織の拡大に伴い、必要な教育とより具体的な配慮についても議論し、実行していきたい。				○					○		○	○	○	○	○		○	
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会				○								○		○	○			○	
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○					
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	<予定>最低限の議論を定期的にしており、現時点での規模においては満足しているが、組織の拡大に伴い、必要な教育とより具体的な配慮についても議論し、実行していきたい。																	○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	<予定>最低限の議論を始めており、現時点で可能な範囲での共有については満足しているが、組織の拡大に伴い、必要な教育とより具体的な配慮についても議論し、実行していきたい。								○	○									○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																			○
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																			○
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																			○
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会																			○
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																			○ ○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○					○

